

Bluetooth インターフェイス
モバイルバーコードスキャナ
CM-520BT
Bluetooth Ver2.1 接続手順書

AIMEX Corporation

CM-520BT:201706291

はじめに

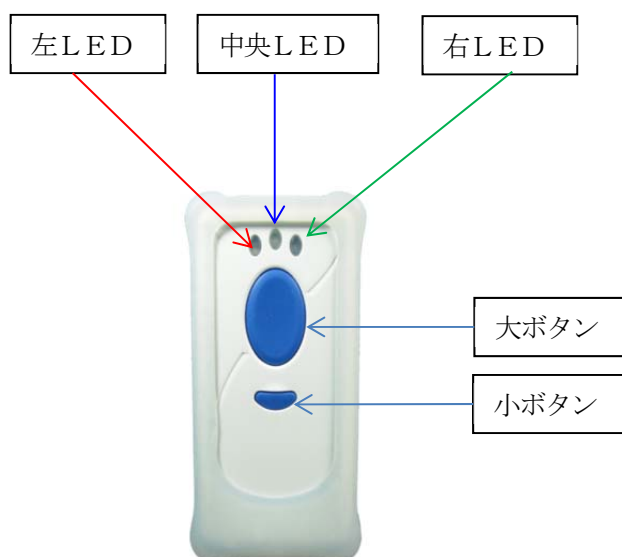
本書は、CM-520BT とパソコン、スマートフォン、タブレットなどと Bluetooth 接続を行うための説明書です。本書では、USB Bluetooth アダプタを使用したパソコン、Bluetooth 無線搭載スマートフォン、Bluetooth 搭載 iPhone を接続先機器として説明をします。その他の機器につきましては、機器付属のマニュアル等をご参照ください。

使用構成：

1. CM-520BT Bluetooth モバイルスキャナ
2. BT-Micro4 プラネックスコミュニケーションズ株式会社製 Motorola 社製 Bluetooth チップ
Bluetooth 4.0 + EDR/LE 802.11 Co-existence 対応
※コンピュータは Windows 7 32bit OS および Windows 8 32bit OS を使用します。
3. ISW13F ARROWS Z au 携帯電話 富士通社製スマートフォン Android 4.0
Bluetooth 4.0 + EDR
4. iPhone 5S アップル社製
Bluetooth 4.0
5. RS-Keyboard Ver3 Windows OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト
6. SKT-330 Android OS 用キーボードインターフェイス ドライバソフト

※各機種の詳細につきましては、機器付属のマニュアルでご確認ください。

※本書は、各機器との Bluetooth 通信を保証するものではありません。ご使用環境によっては正常に Bluetooth 通信ができないこともあります。



注 意：

左 LED がオレンジ色に点滅する場合には、メモリモードになっていますので必ず Bluetooth モードに変更してください。

①設定開始



* / \$ % E N T R *

②Bluetooth モード



* Z T O B *

目 次

1. コンピュータとの接続方法	1
1-1. Windows 7 コンピュータとの SPP 接続	1
1-1-1. Bluetooth 設定	2
1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	2
1-1-3. ペアリングの開始	3
1-2. Windows 7 コンピュータとの HID 接続	5
1-2-1. Bluetooth 設定	5
1-2-2. ペアリングの開始	6
1-2-3. ペアリング検出	6
1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続	9
1-3-1. Bluetooth 設定	10
1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動	10
1-3-3. ペアリングの開始	11
1-4. Windows 8 コンピュータとの HID 接続	13
1-4-1. Bluetooth 設定	13
1-4-2. ペアリング開始	14
1-4-3. ペアリング検出	14
2. Android 端末との接続方法	16
2-1. Android 端末との SPP 接続	16
2-1-1. SKT-330 のインストール	17
2-1-2. SKT330 の選択	17
2-1-3. 入力方法の切替	18
2-1-4. ペアリングの準備	18
2-1-5. ペアリングの開始	19
2-2. Android 端末との HID 接続	21
2-2-1. Bluetooth 設定	21
2-2-2. ペアリングの開始	22
3. iOS 端末との接続方法	24
3-1-1. ペアリングの開始	24
3-1-2. Bluetooth 設定	24
3-1-3. 文字間遅延時間設定	26
4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法	27
4-1-1. BTR-UK3 モード設定	27
4-1-2. Bluetooth 設定	27
4-1-3. ペアリングの開始	27
5. 初期状態	29
6. その他設定	29
6-1. Bluetooth HID キーボード設定	29
6-2. バイブレータ	29

1. コンピュータとの接続方法

市販のUSB Bluetoothアダプタまたは内蔵Bluetoothユニットを搭載したコンピュータとの接続手順を説明します。

CM-520BTは、コンピュータとのBluetooth接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・SPP（Serial Port Profile） シリアル通信入力
- ・HID（Human Interface Device Profile） キーボード入力

1-1. Windows 7 コンピュータとのSPP接続

CM-520BTは、出荷状態でBluetooth SPP Masterモードに設定しています。

CM-520BTをBluetooth SPP Masterモードに設定して、接続先のBluetoothアドレスを登録します。

① 設定開始



② Bluetooth SPP マスタ



③ 接続先 Bluetooth アドレス設定



④ アドレス（16進数12桁 0～F）



⑤ 保存



⑥ 設定終了



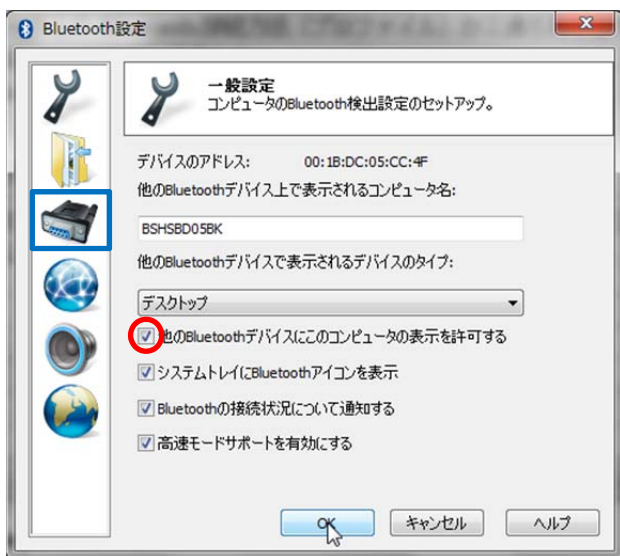
USB Bluetooth アダプタに同梱されている CD を使用してドライバのインストールを事前に行ってください。インジケータ内 (F1-1) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。



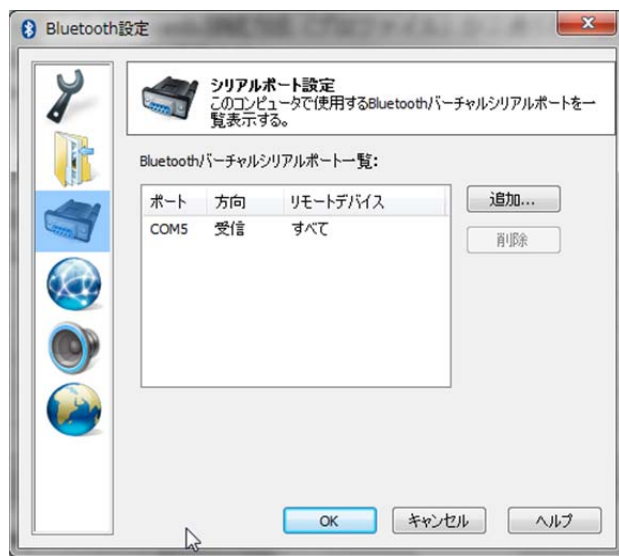
F1-1

1-1-1. Bluetooth 設定

- a) F1-1 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- b) 表示された Bluetooth 設定画面 (F1-2) の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。
- c) 左側アイコン群より青枠の RS232C (DB9) コネクタを選択します。



F1-2

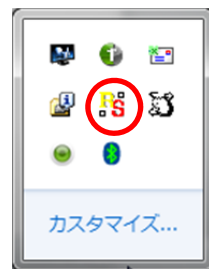


F1-3

- d) Bluetooth バーチャルシリアルポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加...」ボタンをクリックして F1-3 のようにポート番号を表示させてください。
※コンピュータの環境によってポート番号 (F1-3 では COM5 : 5 番) は異なります。
- e) 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

1-1-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- a) 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- b) インジケータ内 (F1-4) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- c) F1-4 の RS-Keyboard アイコンを右クリックして「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



F1-4

CM-520BT

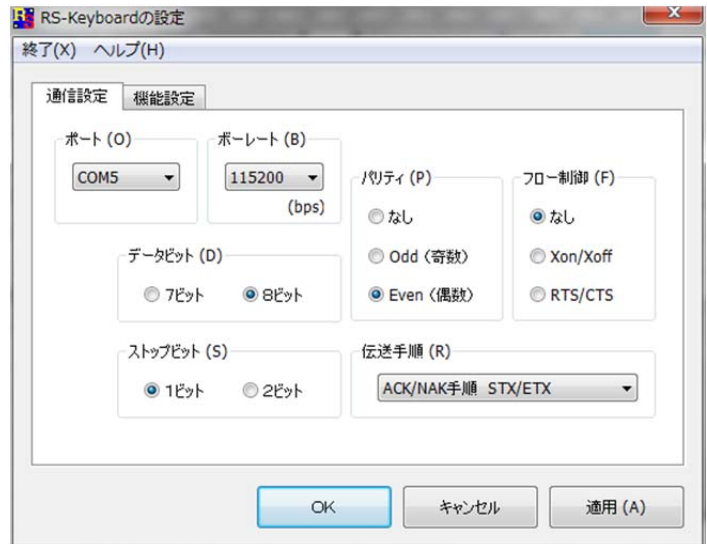
d) パラメータ設定

ポート番号：F1-3 で表示された番号
ボーレート：115200bps
データビット：8ビット
ストップビット：1ビット
パリティ：Even（偶数）
フロー制御：なし
伝送手順：ACK/NAK 手順 STX/ETX

終端キーに Enter を初期値で設定

終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。

確定の「OK」ボタンをクリックします。



F1-5

1-1-3. ペアリングの開始



F1-6

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



または、F1-6 の

小ボタン①を押し続けて

左 LED ③が青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら

大ボタン②を押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら

小ボタン①、大ボタン②の両ボタンを離します。



b) Bluetooth アドレスを登録した端末に「SmartBT」デバイスが表示されたら、ペアリング開始をクリックします。

c) 「OK」ボタンをクリックしてペアリングを完了します。

d) ペアリングが成功すると左側 LED が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビーブ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。



F1-7

以上の操作で CM-520BT とコンピュータの SPP 接続は終了いたしました。

CM-520BT

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（CM-520BT AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動させないとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

1-2. Windows 7 コンピュータとのHID 接続

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

CM-520BT を Bluetooth 標準 HID モードに設定

① 設定開始



② Bluetooth HID



③ 設定終了



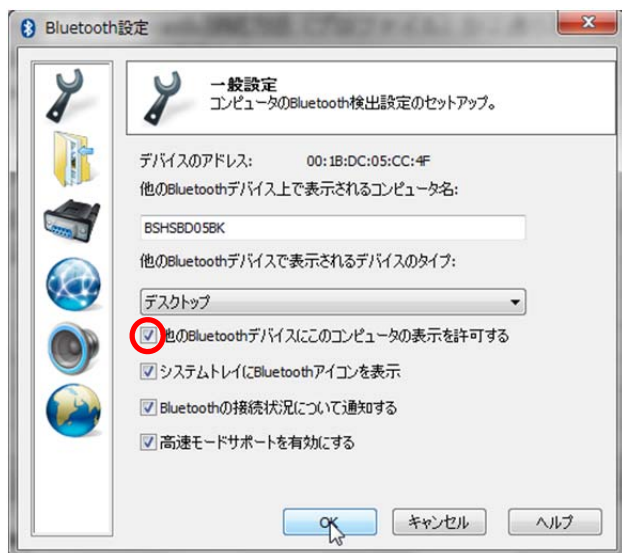
USB Bluetooth アダプタに同梱されている CD を使用してドライバのインストール事前に行ってください。インジケータ内 (F2-1) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-2-1. Bluetooth 設定

- F2-1 の Bluetooth アイコンを **右クリック** して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- 表示された Bluetooth 設定画面 (F2-2) の「他の Bluetooth デバイスにこのコンピュータの表示を許可する。」にチェックを入れてください。



F2-1



F2-2

1-2-2. ペアリングの開始



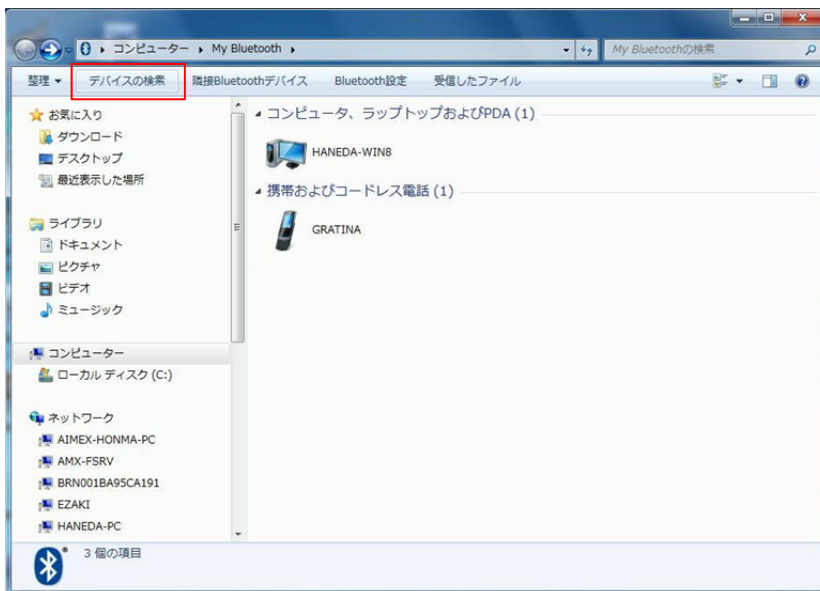
a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



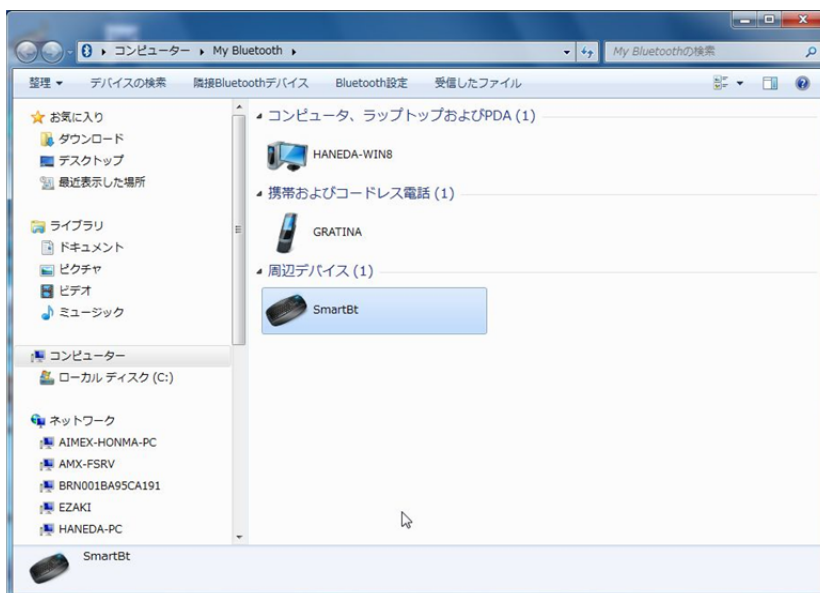
または、F2-3の
 小ボタン④を押し続けて
 左LED ③が青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら
 大ボタン⑤を押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら
 小ボタン④、大ボタン⑤の両ボタンを離します。

1-2-3. ペアリング検出

F2-1のBluetoothアイコンを右クリックして表示されるメニューより「My Bluetoothを開く」を選択してください。



a) メニューバーの「デバイスの検索」(F2-4)をクリックします。



CM-520BT

b) 検出した「CM-520BT」アイコン (F2-5) をクリックします。



F2-6

c) 「接続」ボタン (F2-6) をクリックします。

b) 「OK」ボタン (F2-7) をクリックします。



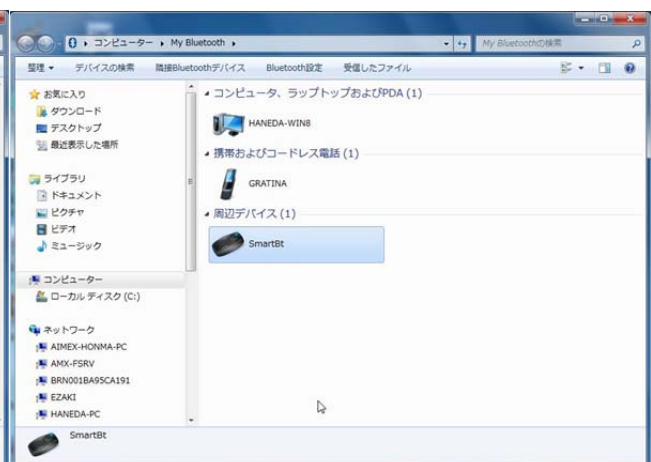
F2-7

c) ペアリング完了

ペアリングが成功すると F2-3 の◎左側 LED が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。



F2-8



F2-9

以上の操作で CM-520BT とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

CM-520BT

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（CM-520BT AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

1-3. Windows 8 コンピュータとの SPP 接続

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

CM-520BT を Bluetooth SPP Master モードに設定して、接続先の Bluetooth アドレスを登録します。

① 設定開始



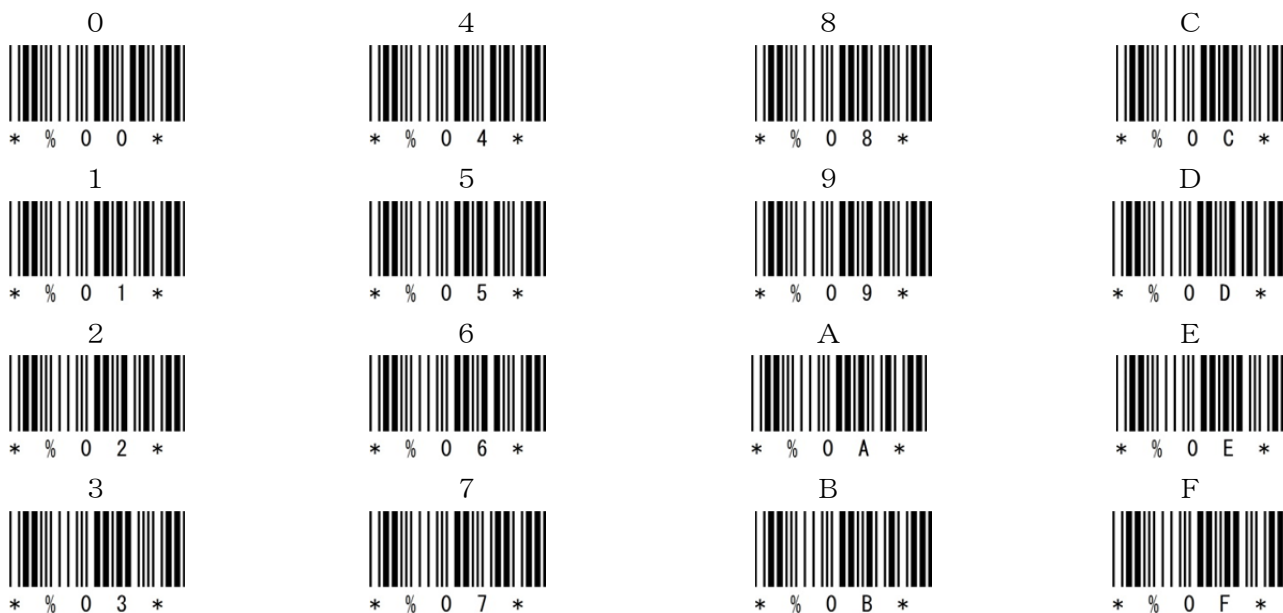
② Bluetooth SPP マスタ



③ 接続先 Bluetooth アドレス設定



④ アドレス (16進数12桁 0~F)



⑤ 保存



⑥ 設定終了



Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (F3-1) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

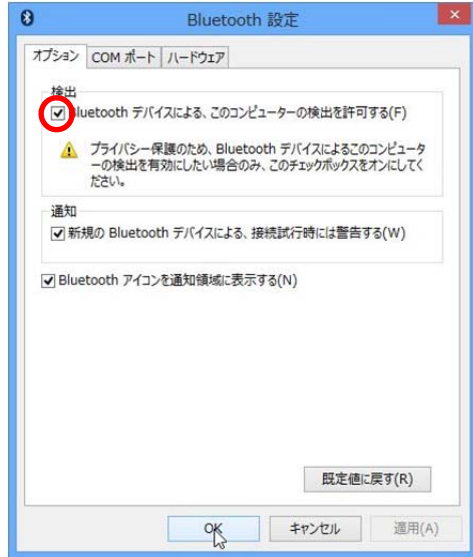


1-3-1. Bluetooth 設定

- a) F3-1 の Bluetooth アイコンを右クリックして表示される F3-2 のメニューより「Bluetooth 設定」を選択してください。
- b) 表示された Bluetooth 設定画面 (F3-3) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。
- c) 「COM ポート」タブを選択します。



F3-2



F3-3

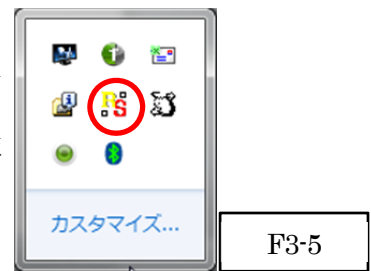


F3-4

- d) ポート一覧にポート番号が表示されない場合には、「追加 (D) ...」ボタンをクリックして F3-4 のようにポート番号を追加してください。
 ※コンピュータの環境によってポート番号 (F3-4 では COM8 : 8 番) は異なります。
- e) 「OK」ボタンをクリックして Bluetooth 設定画面を閉じます。

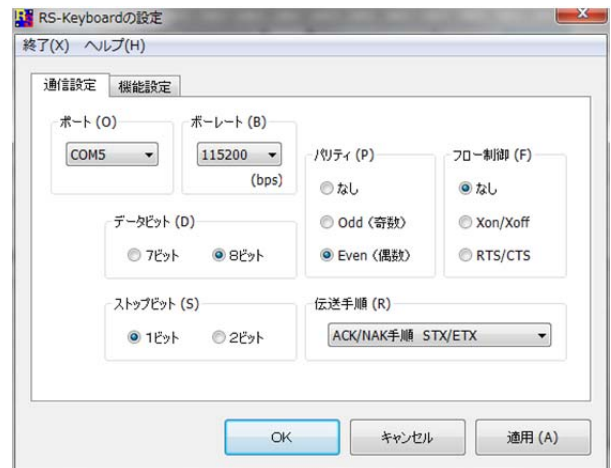
1-3-2. RS-Keyboard Ver3 の起動

- e) 「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「AIMEX」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」⇒「RS-Keyboard Ver. 3」を選択して起動します。
- f) インジケータ内 (F3-5) に赤丸印の RS-Keyboard アイコンの存在を確認してください。
- g) F3-5 の RS-Keyboard アイコンを右クリックして「RS-Keyboard 設定」画面を表示します。



F3-5

- h) パラメータ設定
 ポート番号 : F3-4 で表示された番号
 ボーレート : 115200bps
 データビット : 8 ビット
 ストップビット : 1 ビット
 パリティ : Even (偶数)
 フロー制御 : なし
 伝送手順 : ACK/NAK 手順 STX/ETX



F3-6

終端キーに Enter を初期値で設定
 終端キーを変更する場合には「機能設定」タブを選択して行ってください。
 確定の「OK」ボタンをクリックします。

1-3-3. ペアリングの開始



F3-7

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



* / \$ % E N T R *

または、F3-7の

小ボタンAを押し続けて

左LED Cが青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら

大ボタンBを押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら

小ボタンA、大ボタンBの両ボタンを離します。



* Z P A R *

b) デバイスの追加

ポップアップするメッセージ (F3-8) をタップします。



F3-8

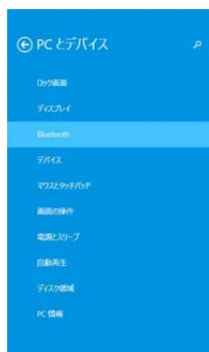
または、F3-5のBluetoothアイコンをタップして

「デバイスの接続を許可 (L)」(F3-9) を選択します。



F3-9

c) ペアリングの完了 (F3-10) を表示します。



F3-10

d) ペアリングが成功すると F3-7のC左側LEDが長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビーブ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作でCM-520BTとコンピュータのSPP接続は終了いたしました。

CM-520BT

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（CM-520BT AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

コンピュータを起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard Ver3 を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard Ver3 を起動させないとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard Ver3 は起動しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

1-4. Windows 8 コンピュータとのHID 接続

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

CM-520BT を Bluetooth 標準 HID モードに設定

① 設定開始



② Bluetooth HID



③ 設定終了



Bluetooth デバイスは、Windows 8 標準ドライバを使用してください。

インジケータ内 (F4-1) に赤丸印の Bluetooth アイコンの存在を確認してください。

1-4-1. Bluetooth 設定

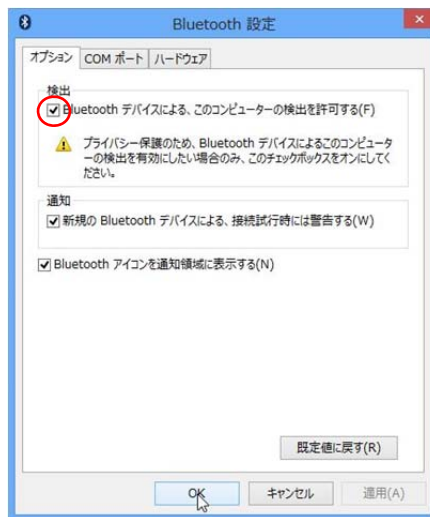
- c) F4-1 の Bluetooth アイコンを**右クリック**して表示されるメニューより「Bluetooth 設定」(F4-2) を選択してください。
- d) 表示された Bluetooth 設定画面 (F4-3) の「Bluetooth デバイスによる、このコンピュータの検出を許可する (F)」のチェックを確認してください。



F4-1



F4-2



F4-3

1-4-2. ペアリング開始



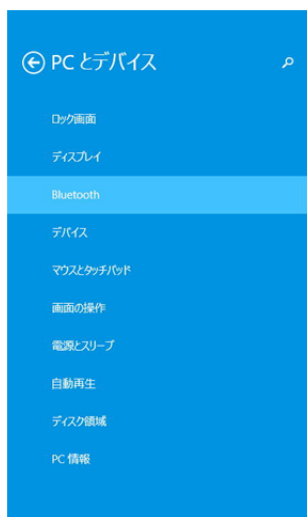
a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



または、F4-4 の
 小ボタン④を押し続けて
 左 LED ③が青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら
 大ボタン⑤を押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら
 小ボタン④、大ボタン⑤の両ボタンを離します。

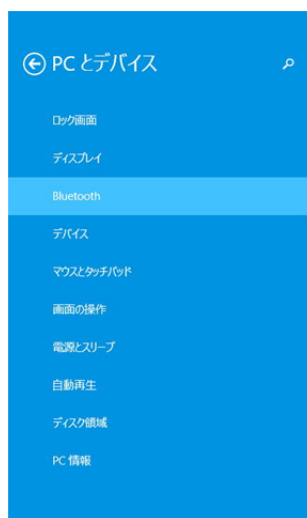
1-4-3. ペアリング検出

F4-1 の Bluetooth アイコンを[右クリック](#)して表示されるメニューより「Bluetooth デバイスの追加 (A)」を選択してください。



F4-5

a) Bluetooth デバイスの管理で検出した「SmartBT」アイコンをクリックしてペアリングします。



F4-6

※CM-520BT の Bluetooth デバイス名は、初期値「SmartBT」です。

CM-520BT

- b) 「ペアリング」 ボタンをクリックしてペアリングを開始します。



- c) ペアリング完了

ペアリングが成功すると F4-4 の◎左側 LED が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビーブ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作で CM-520BT とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (CM-520BT AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

2. Android 端末との接続方法

内蔵 Bluetooth ユニットの搭載した Android 端末（以下端末と略す）との接続手順を説明します。
CM-520BT は、コンピュータとの Bluetooth 接続方法（プロファイル）が2通りあります。

- ・ SPP (Serial Port Profile) シリアル通信入力
- ・ HID (Human Interface Device Profile) キーボード入力

2-1. Android 端末との SPP 接続

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定しています。

CM-520BT を Bluetooth SPP Master モードに設定

① 設定開始



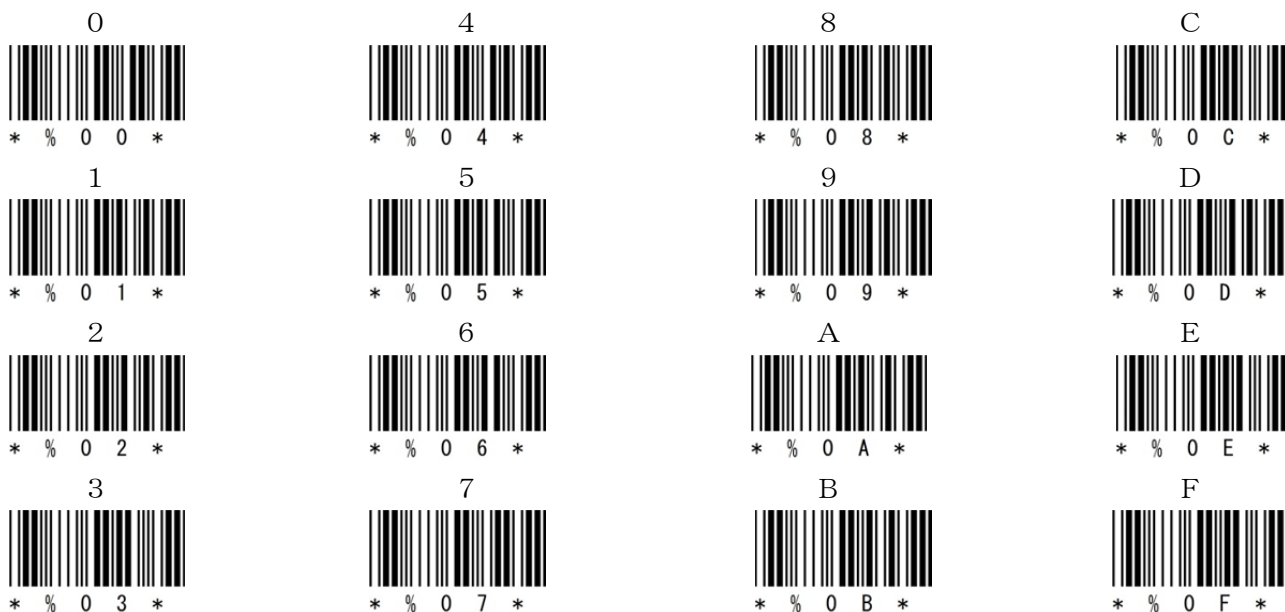
② Bluetooth SPP マスタ



③ 接続先 Bluetooth アドレス設定



④ アドレス (16進数12桁 0~F)



⑤ 保存



⑥ 設定終了



2-1-1. SKT-330 のインストール

SKT-330 は、製品版（有償）と評価版（無償）の2種類があります。

SKT330 は、ユーティリティとキーボードの二部構成になっていますので必ずペアでご利用ください。

アプリケーションから「BarcodeScannerUtility」を起動して「ペアリング」をタップで Bluetooth 設定とペアリングの確定までを自動で行います。

入力の方法で「SKT330」を選択すると接続が確立してデータ入力が可能になります。

ペアリング用ユーティリティ（Android 2.3 以降）

Android 端末で下記の QR コードをスキャンしてダウンロードサイトへアクセスするか、下記のアドレスを入力してください。

<http://www.pure-tech.jp/scanner/BarcodeScannerUtility.apk>

こちらのユーティリティは SKT330 を動作させるために必須となりますので必ず SKT330 と一緒にダウンロードしてください。

ペアリングを行う場合に「アプリケーション」→「BarcodeScannerUtility」で起動します。



SKT330 評価版

Android 端末で下記の QR コードをスキャンしてダウンロードサイトへアクセスするか、下記のアドレスを入力してください。

<http://www.pure-tech.jp/scanner/SKT330Demo.apk>

ダウンロード後にインストールを実行してください。

初回、「設定」→「言語と入力設定」→「SKT330」をタップして有効にします。

入力方法（デフォルト）の選択で「SKT330」を選択してください。（ペアリング後でも OK）



SKT330 は、CM-520BT を端末と接続するための弊社 推奨ドライバソフトです。

※SKT330 は、ピュア・テクノロジーズ株式会社様で BW-330BT 用に開発したドライバソフトです。
Bluetooth Ver 2.1 のペアリング接続に対応しています。

2-1-2. SKT330 の選択

端末の「設定」⇒「言語と入力設定」を選択して「SKT330」にチェックを入れる。（F5-1）



F5-1

2-1-3. 入力方法の切替

「デフォルト」をタップして「入力方法の選択」から「SKT330」を選択します。(F5-2)

※「デフォルト」の選択ができない機種では、テキスト入力画面でカーソル位置を長タップして「入力方法の選択」画面を表示してください。



F5-2

2-1-4. ペアリングの準備

「BarcodeScannerUtility」のアイコンをクリックします。



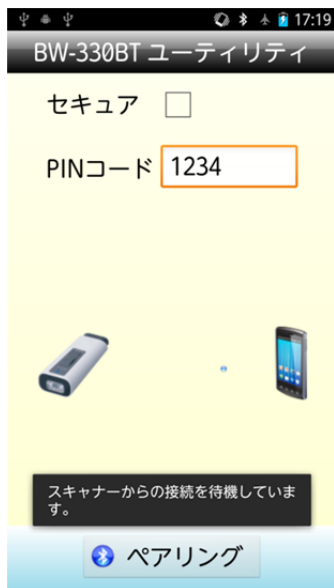
F5-3



F5-4



F5-5



F5-6



F5-7

2-1-5. ペアリングの開始



F5-8

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



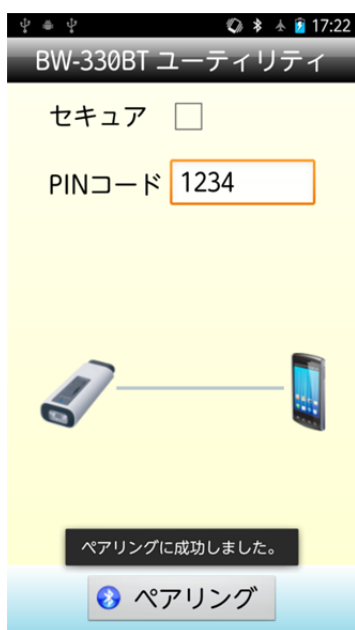
または、F5-9の

小ボタンAを押し続けて

左LED Cが青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら

大ボタンBを押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら

小ボタンA、大ボタンBの両ボタンを離します。



F5-9



F5-10

CM-520BT

- b) ペアリングが成功すると F5-8 の左側 LED ③が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。
※ペアリングに失敗しますとビーブ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。
- c) 「BarcodeScannerUtility」を終了します。

以上の操作で CM-520BT と Android 端末の SPP 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (CM-520BT AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

端末を起動または再起動した場合には、必ず Bluetooth デバイスの接続と RS-Keyboard AR を起動してください。

【 注 意 】

SPP 通信は、シリアルポートにデータを受信しますので RS-Keyboard AR を起動させないとメモ帳などのテキストへ入力できません。

シリアル入力できるアプリケーションをご使用の場合には、RS-Keyboard AR を選択しないでください。シリアルポートの取り合いになりますので正常に動作できなくなります。

2-2. Android 端末との HID 接続

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

CM-520BT を Bluetooth 標準 HID モードに設定

① 設定開始



② Bluetooth HID



③ 設定終了



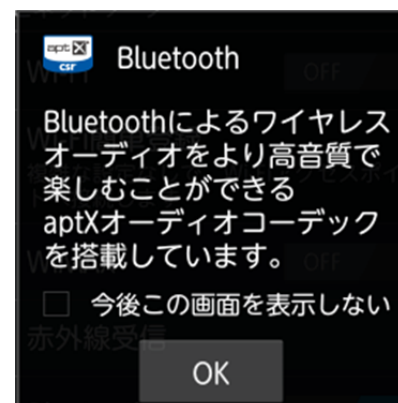
2-2-1. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

- a) 端末の「設定」⇒「Bluetooth」の「OFF」をスライドして「ON」に変更します。
- b) 「Bluetooth」をタップして詳細画面 (F6-3) を表示します。



F6-1



F6-2

※F6-2 の画面が表示された場合には「OK」を選択します。

2-2-2. ペアリングの開始



F6-3

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



* / \$ % E N T R *

または、F6-3の

小ボタンAを押し続けて

左LED Cが青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら

大ボタンBを押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら

小ボタンA、大ボタンBの両ボタンを離します。



* Z P A R *

b) 「デバイスの検索」(F5-4)をタップしてSmartBTを探します。



F6-4



F6-5

※ CM-520BT の Bluetooth デバイス名は、初期値「SmartBT」です。



F6-6



F6-6

CM-520BT

e) ペアリング完了

ペアリングが成功すると F6-3 の左側 LED ③が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作で CM-520BT とコンピュータの HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (CM-520BT AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

3. iOS 端末との接続方法

iOS 4.0 以上が接続可能です。

CM-520BT は、出荷状態で Bluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth HID モードに変更します。

CM-520BT を Bluetooth iPhone/iPad HID モードに設定

① 設定開始



② Bluetooth iOS HID



③ 設定終了



3-1-1. ペアリングの開始



F7-1

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



または、F7-1 の
 小ボタンAを押し続けて
 左 LED Cが青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら
 大ボタンBを押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら
 小ボタンA、大ボタンBの両ボタンを離します。

3-1-2. Bluetooth 設定

端末は、初期値で Bluetooth OFF の状態です。

a) 端末の「設定」⇒「一般」⇒「Bluetooth」の「オフ」(F7-2) をスライドして「オン」に変更します。

b) 自動でデバイスの検索を開始します。

c) 「SmartBt」をタップしてペアリングを開始します。

※CM-520BT の Bluetooth デバイス名は、初期値「SmartBT」です。



F7-2

CM-520BT

d) ペアリング完了

ペアリングが成功すると F7-1 の◎左側LED が長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。



図-58

以上の操作で CM-520BT と iOS 端末の HID 接続は終了いたしました。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ (CM-520BT AIMEX) が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BT は、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

iOS 端末のバージョンによっては、正しくデータ表示されないことがあります。この場合には、データの文字間に遅延時間を入れることで対処可能です。弊社では 20m 秒を推奨値としています。設定方法は、次ページに記載しています。

CM-520BT

3-1-3. 文字間遅延時間設定

1. 設定開始



2. 文字間の間隔設定



1文字毎



確定



3. 遅延時間設定



2



0



確定



4. 設定終了



4. 受信ユニット BTR-UK3 との HID 接続方法

CM-520BTは、出荷状態でBluetooth SPP Master モードに設定していますので、Bluetooth BTR-UK3 (HID) モードに変更します。

4-1-1. BTR-UK3 モード設定

① 設定開始



② Bluetooth BTR-UK3



③ 設定終了



4-1-2. Bluetooth 設定

受信ユニット BTR-UK3 をコンピュータの USB 端子へ挿入します。 コンピュータは、BTR-UK3 を USB キーボード (HID) として認識しますのでドライバ等のインストールは必要ありません。

接続先 BTR-UK3 のアドレスの登録

CM-520BT で BTR-UK3 本体に貼られたバーコード (図-60) をスキャンします。

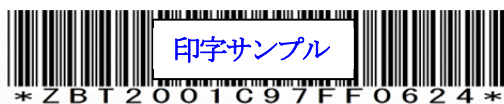


図-60

4-1-3. ペアリングの開始



図-61

a) ①②の順番でバーコードをスキャンしてペアリングを開始します。



または、図-61のⒶ小ボタンを押し続けて

Ⓒ左LEDが青色に点滅し、ピッピッピッと音が鳴ったら

Ⓑ大ボタンを押してピッピッピッ ピッピッピッと音が鳴ったら

Ⓐ小、Ⓑ大の両ボタンを離します。

CM-520BT

b) ペアリング完了

ペアリングが成功すると図-6 1の◎左側LEDが長い点灯と短い消灯の青色点灯に変わります。

※ペアリングに失敗しますとビープ音が鳴りますので再度ペアリングを実行してください。

以上の操作でCM-520BTとBTR-UK3のHID接続は終了いたしました。

※他の機器へ接続する場合には、ドングルアドレスの解除を行う必要があります。

読取テスト実行：

端末のメモ帳を開いてアクティブ状態にします。

下記のサンプルバーコードをスキャンしてデータ（CM-520BT AIMEX）が正常に入力されることを確認してください。



CM-520BT AIMEX

次回からの接続について

CM-520BTは、接続状態を保持していますので、2回目以降は、トリガボタンを押すことで再接続を自動で実行します。

5. 初期状態

この設定を実行しますと初期状態へ戻りますので、個別設定を最初から行う必要があります。
 通信モードは、Bluetooth SPPモード SPP マスタになります。ただし、メモリモードに設定している場合には、メモリモードを保持しますが、Bluetooth 通信モードに変更した時に初期値になります。

① 設定開始



③設定開始



② 初期状態



④Bluetooth 通信モード



6. その他設定

6-1. Bluetooth HID キーボード設定

日本語キーボード



英語キーボード



6-2. バイブレータ

有効



無効

